

## 平成 31 年度 県民の環境活動支援事業

## ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」実施報告書（1）

## 第 1 回「千葉県の豊かさを学ぶ」

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「森を知ろう・森に学ぼう」 第 1 回「千葉県の豊かさを学ぶ」 ガイダンス：「里山カレッジ&実習について」 講義：「房総半島の動植物たち」 実習：「樹木 100 種の特徴と見分け方」
日 時	令和元年 6 月 23 日（日） 10：00～16：00
会 場	千葉県緑化推進拠点施設 研修室&
出席者	受講生 31 名（12 市）・講師 3 名・スタッフ 2 名
内 容	10：00～10：05 開 会 カレッジ担当理事 伊藤 道男 10：05～11：10 講義：「房総半島の動植物たち」 講師：日本野鳥の会千葉県幹事 加藤 恵美子 11：25～12：25 「樹木 100 種の特徴と見分け方」① 講師：森林インストラクター 石松 成子 講師：樹木医 石谷 栄次 13：10～14：30 「樹木 100 種の特徴と見分け方」② 14：40～15：40 「千葉臨海埋立地の生物多様性」 講師：樹木医 石谷 栄次 15：40～15：50 ガイダンス「里山カレッジ&実習」 カレッジ担当理事 伊藤 道男
報 告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会の後、天候に鑑みてガイダンスを午後に送り、加藤氏による「房総の動植物たち」の講義に入った。</li> <li>・市原市里山クラブを軸にして里山活動をする傍ら、動植物の写真撮影に没頭し、少しでも時間があると望遠レンズをもって野山を駆け巡っている。観察眼の鋭さはカエルの声まねにも現れ、千葉県中央博物館からも称賛されている。加藤恵美子講師はこの日のために一枚一枚の写真を選び抜き、四季を通して出会えた動植物の姿をスライドで示した。今にも動き出しそうな勢いで、画像に圧倒された受講生の様子が伝わってきた。</li> <li>・その後、樹木医石谷栄次氏、森林インストラクター石松成子氏を講師にして緑化推進拠点施設内の 100 種の樹木を観察した。庭木に多いシャリンバイ、モッコク、マサキ観察の後、ヤブツバキ、サザンカの違い、ニレ科三兄弟といわれるケヤキ、ムクノキ、エノキの見分け方や、雌雄異株、同株、羽状複葉などのポイント、ユズリハ、ホルトノキなどのそっくりさんなど、千葉県緑化推進拠点施設に植栽された樹木のうち 100 種を選んで観察と解説する授業を行なった。</li> <li>・目で見ると、木肌に触れる、匂いをかぐなど、五感を使った樹木観察に興味を示す受講生も多く、都度都度の質問に対する講師の回答に満足したようだった。</li> <li>・里山カレッジの第 1 回目は、森の不思議と樹木の楽しさを学んだ一日であった。</li> </ul>

添付資料（写真）



加藤恵美子講師



講義を聞く受講生



石松講師を先頭に樹木 100 種を観察する受講生



マテバシイの枝にドングリの赤ちゃんを発見



ヤブツバキ、サザンカの差異に注目



ハリエンジュの倒木について



ケヤキ、ムクノキ、エノキの違いを見る



葉の見比べ



樹木 100 種観察をまとめる



生物多様性について講義する石谷講師



スライドを使った講義風景



カレッジのガイダンスする伊藤副理事長

報告書作成：藤田隆